

学校だより

京都市立洛西中学校

平成19年11月26日

(第15号)

「11月3日・文化の日」特集

11月3日(土)文化の日に、毎年さまざまな文化的な行事が行われています。一般にはあまり知られていないかもしれませんが、その中のひとつに「薫英杯 中学生英語スピーチ コンテスト」という催しがありました。

これは「中学生に生きた英語、正しい英語の普及を図り、併せて国際社会への関心と興味を引き出すこと」を目的に、大阪薫英女学院高等学校の主催で行われているもので、今年で15回目を迎えます。

今年、おそらく初めてかと思いますが、本校から3年3組の生徒がこのコンテストに挑戦しました。そして、素晴らしいことに、最優秀賞を獲得しました。この最優秀賞は、出場者の中でたった1名に贈られる貴重な賞で、賞状と大きなカップと、副賞になんとペア(保護者と本人)でニュージーランド旅行が贈られるものです。

受賞者の喜びの声です。

後輩達も来年以降、また後に続いてほしい!

第2次予選会場には計63名の人がありました。それをA・B・Cの3つのグループに分けられて、予選が始まりました。私は、Cグループの最後の方だったので、はじめは他の人のスピーチを聴いていました。詰まることなくスラスラと言う人もいれば、反対に、緊張のあまり次の文章が出てこない、といった人もいました。

とにかく私は、悔いを残すことだけはしたくなかったので、自分で自分に「落ち着け」と何度も言っていました。とうとう自分の番がきたとき、不思議と緊張がスッと消えていくのがわかり、終わった後に残ったのは「楽しかった」という思いだけでした。予選では、持てる力をすべて出し切ることができ、本戦出場を勝ち取ることができました。

本戦では、12人に絞られました。さすがに、ほとんどの人はミスなく上手でした。ここでも私は、楽しくスピーチを終えることができました。

表彰のとき、私は「4位でもいいから・・・入賞したい」と心の中で祈っていました。私の名前は4位にも3位にも入らず、優秀賞にも入りませんでした。残るは、最優秀賞・・・。

“ ”と私の名前が呼ばれました！あのときの気持ちは言葉では言い表せません。

表彰台に上がって、私は大きなカップと賞状、そして“ニュージーランド2名分”という副賞までもらいました。

今、私が思うのは、すべて父母のおかげだったということです。2人の応援がなければ、私の優勝はまずなかったと思います。父と母に感謝したいです。

おめでとう！ 英語検定合格者の皆さん

10月20日（土）、今年初めて、英語検定の試験を本校で受検してもらう取組を行いました。例年は、受検希望者が大学や高等学校へ行って受検する方法をとっていましたが、今年は、「土曜スクール」（英語検定合格のための学習）の成果をしっかりと出してもらおうと、受検希望者が大勢出てきてくれることを願って、本校受検の取組をやってみました。

そして、11月12日に結果が返ってきました。残念ながら、不合格だった人もいますが、合格者数は以下の通りです。

2 級	受検者 1 名	合格者 1 名
準2 級	受検者 4 名	合格者 2 名
3 級	受検者 15 名	合格者 13 名
4 級	受検者 10 名	合格者 10 名
5 級	受検者 10 名	合格者 10 名

⑨ 2 級、準2 級、3 級は、2 次試験として、面接試験があります。

なお今回は、地域の方や保護者の方の中にみんなと一緒に受検し、合格された方もおられます。生涯学習の範を示してくださっている、と喜んでいきます。